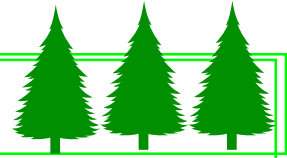




みつぎ便り



第173号 2月号 令和3年2月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

サワラ (花粕、楳)

さて、今回は「サワラ」を紹介し
ます。サワラと言っても、魚のサワ
ラ(鱈)ではありません。「サワラ
の木」は、公園の集会所裏の坂道を
登って行くと、右手の歩道の脇に赤
褐色の木を2本見ることができま
す。ヒノキ科の常緑針葉樹で、所に
よってはヒバ(檜葉)とも言われ、
ヒノキによく似ていて、区別が付き
にくく、葉の裏側の白い気孔線の模
様で見分けるようです。サワラの気
孔線の白く見える部分はX形になっ
ています。ちなみにヒノキは、Y形
をしています。

春になると、葉には雌花が咲き、
秋には6mmくらいの果実ができ、や
がて丸い松ぼっくりのようになりま



す。雄花は春に葉の先端に小さな花
粉を付けます。ヒノキに比べて、柔
らかいため、建築の構造材としては
不向きですが、水に強く割れにく
く、香りも少ないため、桶、風呂桶
などのほか、すし桶、米櫃こめびつなど食品
の容器に加工されます。葉の部分は
酸化防止作用があるので鮮魚や松茸
の下に敷くものとして使われます。
普段通っている道、たまには足を
止めて、皆様も公園で観察を楽しん
でみて下さい。(圭)

ハボタン (葉牡丹)

冬は花の種類が少ない中で、葉牡
丹は花壇を明るく華やかにしてくれ
ています。

お正月飾りや冬場のアレンジメン
トには欠かせない存在です。キャベ
ツの仲間から改良されたためか、美
味しそうにも見えますが、調べてみ
ると、実際に食べることもできるそ
うです。ただし観賞用のものは農薬
の心配もありますので十分な注意が
必要ですね。最近では実に様々な種
類が開発されています。ミニサイズ



は花束や寄せ植えで楽しむことも出
来ますし、丸い葉のものは大輪のバ
ラのように華やかです。

中でも私が好きなのはちりめん
の葉牡丹。アパレルの仕事をする身と
しては、細かいフリルやドレープが
まるでパニエを幾重にも重ねたティ
ードスカートのように見えます。
美しいメロウ刺繍のようにこまかな
縁飾りは、ついうつとりと眺めてし
まいます。優しい色合いもまた素敵
です。(朋)